

一般社団法人群馬県介護支援専門員協会 第3回理事会議事録

日 時：令和元年 6月11(火) 19:00～

場 所：群馬県社会福祉総合センター 2階 ボランティアルーム

出席者：大澤会長 松澤副会長 中沢副会長 安藤理事 岡島理事 菅野理事
小沼理事 坂井理事 島田理事 須田理事 関根理事 高田理事 中西理事
中島理事 松本理事 関口理事 太田理事 事務局:新井 書記：新井(か)理事

1 開 会

2 会 長 挨拶

3 議 事

(1) 総務財政委員会報告と検討

① 会員数

- ・令和元年5月末日現在の正会員数 823名 / 日本協会会員数111名
- ・平成30年5月末日現在の正会員数 793名 / 日本協会会員数117名
- ・令和元年4月末日現在の正会員数 688名 / 日本協会会員数 97名

*昨年よりも出足が好調。専門研修にて協会に入会しない理由をアンケート調査し、今後の会員増加に向けた検討の材料としていく。

② 令和元年度定時総会報告

(松沢副会長)

- ・参加者 116 名

③ 令和元年度記念講演報告

- ・参加者 174 名 非会員は2名、2名は当日入会

- ・委員会委員の改正について

(松沢副会長)

* 岡島理事、太田理事は学術研修委員会

* 関口理事は広報情報委員会

(後日新しい名簿を事務局で作成)

(2) 学術研修委員会報告と検討

- ・共同募金会配分申請事業について

(市民公開講座で申請し、査定額 300,000 決定)

(菅野理事)

*災害対策をテーマに（3年間で実施）今年度1月か2月で実施。

*講演会+シンポジウムで調整

*会場・日程については今後調整

・他 研修会の検討

*法定外研修を会員 500 円、非会員 5000 円で実施を予定

*主任更新要件となる研修を実施

*現地の段取りは支部にお任せし、講師料を本部に入れてもらい、当日徴収した参加費は支部の収入にする方向で委員会で話を詰めていく。

*研修をきっかけに入会を促進する。

*施設・一般ケアマネ対象の研修も、方法も含め委員会にて検討していく。

(3) 広報情報委員会報告と検討

・会報誌 116 号について

(松本理事)

*総会をメインに記事を集めている。

*7月中旬発送予定。

*今回発送にフォーラムのお知らせも一緒に入れる予定。

(4) その他

①令和元年度群馬県社会福祉協議会会長表彰（感謝）候補者の推薦について

※対象者（安藤理事・新井け理事・須田理事）

*上記三名を推薦する。

②新理事（医療職）依頼に関して

(菅野理事)

*打診している医師がいる。ケアマネ資格の取得にも前向きな意向を確認している。

*今後の動向にもよるが、役員は総会決議の為、次回の役員改選で決める事になる。

*医師にこだわることはないが、多職種がいた方がいい。

③「介護関係職種のための口腔機能管理研修会」の実施について

(中西理事)

*歯科医師会が群馬県健康福祉部保健予防課からの委託を受けた事業

*主にケアマネを対象として実施したい。

*企画会議 2 回、研修実施 1 回を今年度は予定。

*協会より構成員 3 名の推薦 中西理事、関根理事、岡島理事

④群馬県災害派遣福祉チーム員先遣隊における課題検討ワーキンググループについて

(岡島理事)

*災害派遣福祉チーム（略称：DWAT）の先遣隊が3つのチームに分かれて活動を行うこととなった。チームとして ①広報・情報発信にかかる検討委員会 ②平時の活動に関する調査研究委員会 ③研修・企画に関する検討委員会 を行う。

*当協会からは、②の平時活動に岡島理事、③の研修・企画に浅沼太田支部長が委員として参加。

*浅沼太田支部長より群馬県災害福祉支援ネットワーク検討会委員担当辞退の申し入れあり。その為、今期より岡島理事を推薦する。

⑤「群馬県人権教育・啓発推進懇談会」委員の推薦について

*新井健五理事を推薦

⑥群馬県立高崎高等特別支援学校からの依頼について

(大澤会長)

*高齢者を知ろう（180分）関根理事

*認知症の方のコミュニケーション技術（120分）中沢副会長

*ポリテクセンター群馬にて、ベッドメイキングデモンストレーション、公開練習が開催される。ここから就職に繋がっているそう。

⑦中央法規からの依頼

(事務局)

*6月になってから、本部に受験対策講座の問い合わせあり。今年は開催がないのであれば紹介して欲しいとの問い合わせがあった。

*中央法規より、受験対策のチラシを周知して欲しいとの依頼あり。

*会報発送に入れ込むのは時期が間に合わないため、メールで周知して欲しいとの依頼。

*賛助会員になっていただけるなら支部等へメールはする。

⑧社会保険研究所からの依頼

(事務局)

*一枚15円にて会報へ同封。

*同封と同時に賛助会員への呼びかけも行う。

⑨今年度に向けての検討課題について

(事務局)

1 会費について→総務財政で検討

2 振込方法について→坂井理事

3 変更届について→支部の変更や勤務先変更時届出がなく把握できない。

*入会申し込みの項目、届出の書式も検討

*3月末の会報と一緒に「変更のある人は…」と変更届を送る。

4 賛助会員の特典の見直しについて→見直しはせず、規定や非会員価格をお知らせしてご理解いただく。

- 5 日本協会からのメールの対応について→従来通り、迷ったら松沢副会長へ相談
- 6 パソコンの入れ替えについて検討→購入はノートかデスクトップのいずれか一台を予定。

⑩伊勢崎佐波ケアマネジャーの会における改正規約と賛助会員規約について

- *「賛助会員」ではなく「準会員」という呼称に変更していただきたい。
- *「準会員」は、ケアマネでない個人であることが前提であり、法人等は県協会の賛助会員になってもらえるよう勧誘していただきたい。

その他

- *総会議事録はホームページにアップする。
- *がん対策推進協議会から、研修実施にあたり次回理事会に説明に来る。

※県の介護高齢課より、ケアプラン点検のアドバイザー派遣についての説明あり

- ・昨年度、伊勢崎市、大泉町で実施。大変好評であったため、今年度も実施を呼びかけ
- ・7市町より希望あり
- ・要領別紙参照 1市町村に1名派遣、年間3回訪問を上限とする。
- ・ケアプランチェック未実施の4市町からも希望あり、ケアプランの見方等基本的なところから指導して欲しい。
- ・昨年度の実施報告会を予定
- ・市町村職員向けに、ケアプランの見方研修会も実施の予定。講師も依頼したい。
- ・研修は全市町村に声掛けを予定。基本的な部分を学ぶ機会としたい。
- ・アドバイザーが決まれば個別に日程調整を行う。
- ・今後、協会への委託事業としていく事も検討している。
- ・将来的には委託事業として受けて行くことも見据えながらお受けしていく。
- ・窓口担当は岡島理事

4 閉 会